

## 石垣もジオ

里見哲夫

私たちの祖先は、この地域特有な貴重な地形、地質を活用しながら地域越しをして、その生活を支えてきたのである。いけばジオパークを実践してきたことになる。

妙義山や荒船山を眺め、詩や歌を作り文化の発展に力を尽くしてきた。

また、砥石や石灰岩、鉄鉱石、風穴の石等、地下の資源に着目しながら産業を起こしている。気候風土に恵まれた大地からは、コンニャクやネギ等を作り生活を豊かにしてきた。そのお陰で今日の下仁田町がある。

ジオパークとは、決してむずかしいものではない。町民ひとりひとりが、この地域の貴重な地質的資源を生かし、保全しながら地域の生活の活性化を図ることにある。

身近にある石垣に目をむけてみよう。これは歴史や文化の多くを知ることのできる文化遺産である。山地と川の流域の石垣に目を向けてみると、石垣の様子が異なっている。山地の石垣は角ばった石が、川の流域の石垣は丸い石が積まれている。

また、石の質も異なる。これは地質構造上の違いによるもので、今日、各所でみられるコンクリートブロックの石積みとは比較にならない程の、英知を絞った貴重な存在である。世界遺産に登録された荒船風穴の石積みもその一つではないだろうか。

私たちは先人の残してくれた多くの文化遺産を参考として、ジオパークについても一度見直しをしてみたらどうだろうか。発想の転換を図って、自分たちの手によって地域越しをして、明るく住みよい楽しい町づくりをしてはどうでしょうか。一歩前進してみませんか。

石垣を 築きし人に 心あり  
生きてきし日の 知恵あるぞ知る

## 毎月20日は『下仁田ジオパークの日』

皆様にご協力いただいた、ジオサイト清掃活動は12月～2月の間休止させていただきます。  
ご協力ありがとうございました。

## はねこし峡の清掃活動

10月20日(木)のジオの日は、はねこし峡の清掃をしました。今月も20人ほどの皆さんが参加してくれました。

昨年は大量のゴミがありましたが、今年はそれに比べるとずいぶん少ない感じがしました。活動の成果が出ていると思う反面、流れ着いたゴミはまだまだ多く、考えさせられました。

はねこし峡は、はこぶち峡とも呼ばれていました。硬い神農原礫岩がつくる狭くて深い谷を鍋川が急流となって流れて行きます。素晴らしい景勝地です。大正時代には、岩の上に4件のお茶屋が建っていたそうです。美味しい料理を食べながら、鮎が跳ねる急流を眺めていたのでしょうか。国道には桜並木が続いていて、とてもきれいだったそうです。

清掃活動が終わった後は、ミニジオ講座を聞きながら、はねこし峡のかつての賑わいを想像できたひと時でした。



## ガイド養成講座を受けて

4月の開校式に始まり、総工程16時間に亘るガイド養成講座も11月9日に修了式を迎えた。

町の定めた基準にはかりガイド認定書が交付された。下仁田の大地の生い立ち・歴史や文化・ガイドの果たす役割等、その道のエキスパートから基礎を学ばせて戴いた。

ガイド活動が地域に与える効果として、地域資源の紹介・活用する機会を増やす事により交流人口が増え、経済の波及効果が生まれると共に、地域や自然の危険箇所の把握が可能となり、しいては新たな雇用として有償ボランティアの創出が可能となる。等以上の項目が挙げられるも、いざ有償となると自らを振り返る時、果たしてこの程度のガイドで良いのであろうか?と自問自答すると未熟さが残る己に不甲斐無さを感じた。

専門的知識をより一層養い身に就け、なおかつ年代に即応したガイドになるためには、“継続は力なり”を信じ自分磨きのため地域活性のために一役を担う一心で取り組んで参りたいと決意を新たにされた講座であった。



## 箱根ジオパーク一行来る!

10月31日、中小坂鉄山に箱根ジオパーク御一行10名の方が来訪された。同月伊豆半島でのジオパーク全国大会に出席の折、各PR展示ブースで中小坂鉄山パンフレットに興味を示され、パンフ片手に尋ねて来られました。

縦坑最上部、路頭に現れた鉱脈や坑道のスケールの大きさに眼を見張り当時の生産規模を推定されたり採取した鉄鉱石を磁石で確かめながら、しばし童に帰り寛いでおられました。来る12月3日、たたら製鐵が行われることを伝えると是が非でも足を運びたいと鉄に対する厚い胸中を語られ、ジオ活動を通して人生の邂逅を感じる秋の一コマでした。



ジオパークで  
地域に活力を!!

# ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館  
下仁田町大字青倉158-1  
☎70-3070 FAX67-5315  
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

## 行事報告

### 下高でジオパークの講演をしました

下仁田高校のふれあいアカデミーの授業で全校生徒を対象に「大地から学ぶ下仁田町～これであなとも下仁田マニア～」というタイトルで話をしました。ジオパークとは何かや、下仁田ジオパークのみどころ案内のほか、全国のジオパークの高校生の取り組みの紹介などを行いました。ジオパークに興味を持ち下仁田で活躍してくれる高校生が増えていくといいですね。

### 日本鉱業史研究会の研究発表会

10/15(土) 下仁田町公民館において、ジオサイトの1つ「中小坂鉄山」について日本鉱業史研究会の研究発表会が開催されました。

西は九州から全国各地の専門家が集まり、歴史的観点、地質学的観点それぞれの専門家により発表が行なわれ、予定時刻を超過するほど熱い議論がおこなわれました。近代製鉄黎明期における中小坂鉄山の位置づけや地質学的にみても他で類を見ない鉄鉱床など中小坂鉄山の新たな一面が明らかになりました。



## 行事予定

### たたら製鉄を行います

昨年大盛況だった「たたら製鉄」を今年も12月3日に実施します。たたら製鉄は明治初期まで行われていた製鉄方法です。川原で集めた砂鉄から鋳(ケラ)という鉄のかたまりを作ります。窯からどろどろに溶けた鉄が出てくる瞬間は感動です。ぜひ製鉄の様子を見学に来てください。

【日 時】12月3日(土) 午前8時から ※荒天時は翌日

【会 場】下仁田町自然史館

【スケジュール】

午前8時 作業開始

午前9時 点火

午後2時 鋳(ケラ) 取り出し予定

申し込み不要 入退場自由



## ねぎとこんにやくジオパーク

### 下仁田ねぎ

下仁田ねぎがおいしい季節がやってきました。下仁田の名前が付いたこのねぎは下仁田周辺のごく限られた場所ではしかおいしく育たない、とても貴重なねぎです。下仁田町ではむかしから下仁田ねぎを栽培してきました。ねぎ畑がある場所は河岸段丘という地形です。河岸段丘というのは、川の働きでできた広い平らな地形です。昔の人が、自然が作った地形をうまく利用して広大なねぎ畑を作りました。下仁田町が下仁田ねぎで有名になることができたのは、下仁田の地形と昔の人の知恵のおかげだったのです。

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています、ぜひお出かけください。

※12月の休館日は5・19日です。12月28日～1月3日は年末年始休館です。

問合せ先 教育課ジオパーク推進係(下仁田町自然史館) ☎70-3070

# 協力隊活動報告

## 大井田隊員報告

10月、11月は「買い物弱者支援セミナー」、「生活支援コーディネーター」の研修に参加しました。直接高齢者の皆様とお話をさせていただく中でも買い物については非常に課題を感じています。今後生活支援コーディネーターを目指す上でも、高齢者の皆様のさまざまな悩みや不安にひとつひとつ向き合い解決し、毎日を元気に楽しく過ごしていただけるよう努力していきたいと思っております。

## 渡辺隊員報告

11月3日(木・文化の日)10時～16時に荒船の湯で食材・食品などを販売するイベント「あらふねマルシェ」を開催致しました。今回は第2回荒船風穴ハイキングとあわせての開催ということもあり、家族連れのお客様の他にハイキングをされたお客様も多くお越しいただきました。イベントに携わってくれた方々の協力の積み重ねが、実りある形で現れたような第3回あらふねマルシェだったと強く思うところです。イベントにお越しになられた方々やイベントに携わってくれた方々に厚くお礼申し上げます。



## 片山隊員報告

季節が冬になり寒い日が続いていますね。寒さで外に出かけるのが億劫になるこの季節は、自然がみどころのジオパークにもきびしい季節です。しかし、寒さを言い訳にするわけにもいきません。冬行事としてまずは12月3日に自然史館で中小坂鉄山研究会、日本ジオパーク下仁田応援団主催のたたら製鉄が行われます。昔ながらの方法で砂鉄から鉄を作る様子を見学することができます。貴重な機会なのでぜひ足を運んでみてください。

これからも、冬じゃないとできない体験や、寒いからこそ楽しい企画をジオパークから発信していきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

## 小池隊員報告

ねぎのおいしい季節となりました。協力隊畑のねぎも育ち、最高のコンディションとなりました。さて、11月はNHKのおはよう日本にて「至高のすき焼き」が取材され全国放送となりました。これからは最高の下仁田ねぎを、是非ともすき焼きで県内外の方に味わって頂きたいと思っております。

## 医療関係従事者等の届出について

医療関係従事者等の届出は、2年ごとに実施されており、今年度は実施年です。

平成28年12月31日現在、次の①②に該当する人は、忘れずに届け出てください。

- ①国内に住所があり、日本の医籍、歯科医籍または薬剤師名簿に登録されている医師、歯科医師、薬剤師
- ②業務に従事している歯科衛生士、歯科技工士、保健師、助産師、看護師、准看護師

**届出期限** 平成29年1月16日(月)

※届出票は関係団体等を通じて配布します。12月31日までに配布されなかった場合は、富岡保健福祉事務所(☎62-1541)に請求してください。